



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年11月5日

上場会社名 株式会社 ニックトー

上場取引所 東

コード番号 5367 URL <https://www.nikkato.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 宏司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 濱田 悦男

TEL 072-238-3641

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

2019年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	5,015	3.1	507	20.2	558	15.4	375	16.1
2019年3月期第2四半期	5,178	13.5	636	36.6	660	38.4	447	40.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	31.45	
2019年3月期第2四半期	37.48	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	14,709	11,056	75.2	926.32
2019年3月期	15,081	10,889	72.2	912.28

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 11,056百万円 2019年3月期 10,889百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		11.00		11.00	22.00
2020年3月期		11.00			
2020年3月期(予想)				11.00	22.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,100	5.5	950	18.2	980	20.2	680	14.1	56.97

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	12,135,695 株	2019年3月期	12,135,695 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	199,753 株	2019年3月期	199,747 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	11,935,947 株	2019年3月期2Q	11,936,125 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する事項(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、米中貿易摩擦の影響がより鮮明になり輸出の減少や内需の停滞の影響により企業収益は引き続き一進一退の状況にありました。今後一層予断を許しませんが、企業の合理化・省力化投資や設備の更新・維持投資などの設備投資は伸びが鈍化しているものの底堅いものと考えております。

このような状況の中、主力のセラミックス事業は、電子部品業界をはじめとする主要客先での生産調整の影響により前年同期比2.0%減収の3,888,071千円となりました。市場別構成比率では、電子部品55.31%、化学・窯業向け10.7%、機械・ベアリング向け8.4%となりました。一方エンジニアリング事業につきましても客先の設備投資の低迷の影響により前年同期比6.8%減収の1,126,834千円となりました。市場別構成比率は環境・エネルギー向け31.9%、電子部品向け24.7%、自動車・重機向け21.1%となりました。結果当第2四半期の売上高合計は、前年同期比3.1%減収の5,014,906千円となりました。

損益面につきましては、セラミックス事業は受注の減少による工場稼働率の低下に加え、昨年度より積極的に設備投資した償却負担の増加により前年同期比17.2%減益の526,903千円となりました。エンジニアリング事業も組織改革による経費の削減に努めておりますが減収の影響が大きく19,469千円のセグメント損失(前年同期は460千円の損失)となりました。この結果、営業利益は前年同期比20.2%減益の507,433千円となり、経常利益は前年同期比15.4%減益の558,272千円、四半期純利益も16.1%減益の375,426千円となりました。

当第2四半期の配当につきましては、予定通り1株について11円とさせていただきます。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期の財政状態については、総資産が前期末比2.5%減の14,709,101千円となりました。内訳としては流動資産が前期末比9.1%減の8,306,414千円となり、主に現金及び預金が22.4%減の2,038,802千円、売掛債権が11.9%減の3,303,960千円となりました。これらの減少要因は両事業における売上減少及び有形固定資産の取得によるものであります。また、固定資産が、前期末比7.7%増の6,402,687千円となり、主に機械及び装置が13.2%増の1,504,245千円、建設仮勘定が前期末比大幅増の358,283千円となりました。これらの増加要因は生産設備の更新および東山工場新建屋の着手金等によるものであります。

一方の負債は、前期末比12.9%減の3,652,616千円となりました。内訳としては流動負債が前期末比12.9%減の3,332,280千円、固定負債が前期末比12.8%減の320,335千円となり、流動負債は主に営業外電子記録債務が68.8%減の126,417千円、仕入債務が9.3%減の1,776,762千円となりました。これらの減少要因は売上の減少に伴う仕入の減少及び生産設備の支払いの減少によるものです。固定負債の減少要因は製品補償引当金が減少したことによるものであります。

また、純資産が前期末比1.5%増の11,056,485千円となりました。これは主に株主資本が2.3%増加したことで、内部留保の蓄積による繰越利益剰余金の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物は2,038,802千円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、全社的に経費の削減及び生産の合理化に努めましたが税引前四半期純利益が551,330千円と前年同期比100,303千円(15.4%)減少いたしました。一方で、売上の減収に伴い債権残高が減少したことによる売上債権の増減額は445,053千円と前年同期比424,637千円大幅に収入が増加いたしました。結果、営業活動によるキャッシュ・フローは572,556千円と前年同期比110,514千円(23.9%)収入が増加いたしました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、新規の設備投資及び新建屋の着手金の支払いにより有形固定資産の取得による支出が△967,411千円と前年同期比669,014千円(224.2%)増加いたしました。結果、投資活動によるキャッシュ・フローは△995,541千円と前年同期比717,069千円(257.5%)支出が増加いたしました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の残高が減少した影響により長期借入金の返済による支出が△33,696千円と前年同期比33,328千円(49.7%)支出が減少いたしました。結果、財務活動によるキャッシュ・フローは△165,450千円と前年同期比45,341千円(21.5%)支出が減少いたしました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において2019年5月7日付「2019年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて公表いたしました内容から変更はありません。

(注) 本資料に記載している業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,627,237	2,038,802
受取手形及び売掛金	3,749,013	3,303,960
商品及び製品	717,977	1,016,011
仕掛品	1,493,366	1,488,922
原材料及び貯蔵品	414,094	400,455
その他	134,729	58,262
貸倒引当金	△700	-
流動資産合計	9,135,719	8,306,414
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,436,878	1,471,498
機械及び装置(純額)	1,329,210	1,504,245
その他(純額)	1,080,244	1,405,046
有形固定資産合計	3,846,332	4,380,790
無形固定資産	56,469	92,603
投資その他の資産		
投資有価証券	1,920,999	1,811,842
その他	121,439	117,451
投資その他の資産合計	2,042,439	1,929,293
固定資産合計	5,945,241	6,402,687
資産合計	15,080,961	14,709,101
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	378,390	381,525
買掛金	1,580,258	1,395,237
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	50,696	23,500
営業外電子記録債務	405,574	126,417
未払金	368,192	500,737
賞与引当金	319,000	293,500
役員賞与引当金	34,013	17,006
その他	288,494	194,356
流動負債合計	3,824,618	3,332,280
固定負債		
長期借入金	6,500	-
役員退職慰労引当金	159,031	156,895
資産除去債務	41,396	41,750
繰延税金負債	6,110	-
製品補償引当金	76,970	42,312
その他	77,397	79,377
固定負債合計	367,406	320,335
負債合計	4,192,025	3,652,616

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320,740	1,320,740
資本剰余金	1,225,438	1,225,438
利益剰余金	7,997,612	8,241,743
自己株式	△87,306	△87,310
株主資本合計	10,456,484	10,700,612
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	432,451	355,873
評価・換算差額等合計	432,451	355,873
純資産合計	10,888,936	11,056,485
負債純資産合計	15,080,961	14,709,101

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	5,177,646	5,014,906
売上原価	3,837,745	3,802,515
売上総利益	1,339,901	1,212,390
販売費及び一般管理費	704,120	704,956
営業利益	635,780	507,433
営業外収益		
受取利息	2,254	1,351
受取配当金	26,459	26,737
受取保険金	-	15,302
その他	8,371	12,858
営業外収益合計	37,086	56,250
営業外費用		
支払利息	2,483	2,015
コミットメントフィー	2,637	2,648
製品回収関連費用	7,371	-
その他	663	747
営業外費用合計	13,156	5,411
経常利益	659,709	558,272
特別損失		
固定資産廃棄損	8,075	6,941
特別損失合計	8,075	6,941
税引前四半期純利益	651,634	551,330
法人税、住民税及び事業税	210,000	151,000
法人税等調整額	△5,763	24,903
法人税等合計	204,236	175,903
四半期純利益	447,398	375,426

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	651,634	551,330
減価償却費	257,684	299,974
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,000	△700
受取利息及び受取配当金	△28,714	△28,089
支払利息	2,483	2,015
前払年金費用の増減額(△は増加)	△9,282	4,183
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11,315	△2,136
固定資産廃棄損	8,075	6,941
受取保険金	-	△15,302
製品補償引当金の増減額(△は減少)	-	△34,658
売上債権の増減額(△は増加)	20,416	445,053
たな卸資産の増減額(△は増加)	△166,260	△279,950
その他の資産の増減額(△は増加)	5,315	102,369
仕入債務の増減額(△は減少)	△123,847	△181,885
未払消費税等の増減額(△は減少)	9,351	△47,431
その他の負債の増減額(△は減少)	20,003	△88,379
小計	654,174	733,335
利息及び配当金の受取額	28,715	28,089
利息の支払額	△2,345	△1,924
法人税等の支払額	△218,502	△202,246
保険金の受取額	-	15,302
営業活動によるキャッシュ・フロー	462,041	572,556
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△298,397	△967,411
有形固定資産の売却による収入	1,370	-
無形固定資産の取得による支出	△910	△27,219
投資有価証券の取得による支出	△1,065	△1,218
定期預金の払戻による収入	20,000	-
貸付金の回収による収入	87	77
投資その他の資産の増減額(△は増加)	443	231
投資活動によるキャッシュ・フロー	△278,471	△995,541
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△67,024	△33,696
自己株式の取得による支出	△511	△3
リース債務の返済による支出	△226	△340
配当金の支払額	△143,029	△131,410
財務活動によるキャッシュ・フロー	△210,791	△165,450
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△27,221	△588,435
現金及び現金同等物の期首残高	2,782,684	2,627,237
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,755,462	2,038,802

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	セラミックス事業	エンジニアリング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,969,139	1,208,507	5,177,646	5,177,646
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	3,969,139	1,208,507	5,177,646	5,177,646
セグメント利益又は損失	636,240	△460	635,780	635,780

当第2四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	セラミックス事業	エンジニアリング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,888,071	1,126,834	5,014,906	5,014,906
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	3,888,071	1,126,834	5,014,906	5,014,906
セグメント利益又は損失	526,903	△19,469	507,433	507,433